



# 12月号 銀杏

心(こころ)くん

【学校教育目標】自立に向けて ともに磨き合う児童の育成

城南小学校だより  
田布施町宿井1039-1  
TEL 52-2559  
FAX 52-2503

## 銀杏の葉が舞う師走、挑戦の一歩が未来をつくる

12月に入り、一年の締めくくりの季節となりました。今年は寒さの訪れがやや遅ましたが、校庭の銀杏は鮮やかな黄金色に染まり、葉が舞い散る様子はまるで絨毯のように足元を彩っています。城南の町にも、冬の気配が静かに漂い始めました。

この原稿を書いている本日は、校内持久走大会の日です。肌寒さの中、子どもたちは力いっぱい走り抜け、誰一人として手を抜く姿はありません。そのひたむきな走りからは、純粋さと逞しさが伝わってきました。保護者や地域の方々の温かな声援、そしてスタンドから仲間を応援する子どもたちの姿に、城南ファミリーの絆と温もりを改めて感じることができました。

さて、年の瀬を迎えるにあたり、今年一年を振り返ります。今年1月の学校だよりでは「已年は新しい自分に生まれ変わる」「挑戦と成長の年」と記しました。振り返れば、私自身も挑戦を重ねた一年でした。1年前の町内駅伝大会で頑張る子どもたちの姿に触発され、「自分もマラソンに挑戦してみよう」と決意。フルマラソン完走を目標に練習を始め、酷暑の中で25キロを走る日もありました。喜びも苦しさも経験しましたが、それらは確かな糧となり、迎えた下関海峡マラソンでは人生初のフルマラソンを無事完走することができました。得られた充実感は何ものにも代えがたく、私なりに「挑戦と成長」を体現できたように思います。

学校では今年から SWPBS (学校規模ポジティブ行動支援) に取り組みました。試行錯誤を重ねながら進め、2学期から本格的に実施することで、子どもたちの様子にも変化が見られます。城南の誇りである「あいさつ」の声は一段と大きくなり、自然に交わす児童が増えました。「ふわふわ言葉」への関心も高まり、友だちのよいところを見つけて互いに認め合う姿が広がっています。地域の方々の笑顔も昨年以上に多く見られるようになりました。

この一年を通じて、改めて「まずは行動してみる」ことの大切さを実感しました。失敗から学ぶことも多く、それが次の成功へとつながります。何もしなければ得るものはありませんが、一歩踏み出せば新しい成果や気づきが生まれるのだと強く感じています。

来年は午年です。駆ける馬のように、皆様にとっても力強く前進できる一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。(校長 木村昌浩)

城南小学校のホームページは、右記のQRコードからご覧いただけます。

「子どもたちの様子」等は随時更新していますので、ぜひご覧ください。

